

# 留 学 報 告 書

記入日：2020年02月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部 商学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校 現地言語： City University of New York Staten Island
留学期間	2019年08月～2019年12月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	School of Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年12月26日
明治大学卒業予定年	2020年03月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：                    2学期：8月～12月 3学期：                    4学期：
学生数	不明
創立年	1976

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0	
宿舍費	7000	770000円	
食費	1800	200000円	
図書費	0	0円	
学用品費	250	28000円	
携帯・インターネット費	0	0円	
現地交通費	0	0円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	200	22000円	
被服費	150	16000円	
医療費	0	0円	
保険費	150	16000円	形態：
渡航旅費	2000	220000円	
ビザ申請費	170	18000円	
雑費	200	22000円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
<b>合計</b>	11770	1312000円	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
往路 出発地：成田 目的地：ジョンエフケネディ 経由地： 復路 出発地：ジョンエフケネディ 目的地：成田 経由地：
<b>渡航費用</b>
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：日本航空 料金：201000 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
<b>空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名： ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名：グーグルフライト) <input type="checkbox"/> その他( )

## 滞在形態関連

## 1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前:Dolphin Cove)     アパート     ホームステイ

## 2)部屋の形態

 個室     相部屋(同居人数 4 人)

## 3)共有部分

 バス     トイレ     キッチン( 自炊可     自炊不可)

## 4)住居を探した方法:

大学とのメールのやり取り

## 5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ブルックリン、クイーンズ等からくる黒人が主な住人のよう。部屋のルールは一応決めるがあつてないようなもの。部屋でマリファナ、朝までどんちゃん騒ぎは当たり前。(特に男部屋)注意しても翌日には同じことが起こるため無意味。耳栓がこれほど重宝したのは人生で後にも先にもこの期間だけであろう。特にサウスビルディング4階は廊下にまでマリファナの匂いが充満している。同じ部屋のルームメイトによるとノースビルディングは留学生、スポーツ特待生がメインのため相対的に秩序だっているらしい。さらにサウスは1階がレセプションで多くのイベントが開催されるのでうるさい時がある。住むならノースのほうがいだろう。また、冷蔵庫の人のものを食べることも日常茶飯事のようなので、名前を書いて絶対使うなど言うくらいすれば何とか食べられずに済むかもしれない。だが調味料等はちょっと(遠慮なくむっちゃ使う)使っていていい?と聞かれると断りきれないのが日本人なのである。食べ物に関してはどうやらシェアするのが普通らしい。実際日本人の友人の部屋ではアメリカ人は勝手にその友人のチョコを食べ、友人は勝手にアメリカ人のジュースを飲んでた。ナイフ、フォーク、その他の調理器具も勝手に使う上、洗わないことも多い。注意しても直らないのは私の部屋の住人だけだったと願いたい。またエアコンの温度設定は非常に困難を極める。アメリカ人はよく真冬でも半袖短パンで歩いているが、現実、私の部屋の住人3人(自分以外)は、設定温度は華氏65度(摂氏18度)でオッケイと言いつつ出した。日本人からしたらめっちゃくちゃ寒い。私は担当のルームアシスタントを間にいれ、なんとか72度(22度)で固定するルールを作ったが、当然のごとく温度を下げてくるし、これもまた注意してもなおらない。マリファナを吸ったときは匂いを消すため(寮は薬物禁止)55度(12度)に下げる始末である。なんで12度まで下げれるんだ?と疑問に思ったりもした。共有部分に関しては日本人の清潔さは全く求めることはできない。男であればトイレが汚くなりがち(立ってする上、汚れてもきれいにならない)だし、女子は風呂場の髪の毛等の汚れが問題のようである。友人によると風呂場が汚く注意しても、なおらないようだ。SNS で「次に使う人のことを考えられなすぎ」と嘆いていたのは記憶に新しい。しかも高額な寮費、最低 10 万円のミールプラン(学食で使う)に「強制加入」のため、周辺でホームステイ、ルームシェアあるいは個人でアパート等を借りたほうが良いかも。ミールプランは特に女子は使い切れない額な上、翌セメスターに持ち越すこともできない。食事のバラエティも多くなると飽きるし健康的な食事といえばサラダやスープぐらいなのでおすすめしない。「マリファナ臭い!」、「うるさくて寝れない!」、「私の食べ物がない!」、「寒い!」事案は私の部屋だけでなく、他部屋でも起こっているが高確率でどれか一つにはあたってしまいかも。できれば留学生(ヨーロッパ、アジア等)と部屋をシェアしたほうが良い。彼らにとってもアメリカは自国のルールが通じにくい異国の地のため、他人と協調しようとする気概は比較的にあると思う。また彼らは勉強もそうだが、マンハッタン等への観光にも意欲的なので友達になりやすいのかもしれない。友人はフランス人と大親友になったようで楽しそうであった。一方アメリカ人は当然地元へ観光には行かないし、すでに友人関係がアメリカ人同士で成立している為、日本人が改めて間に入って友達になるのは難しいかもしれない。また、黒人が主な住人のため、ガンガン攻めていける人やアメリカの黒人文化に興味がある人以外あまり積極的に友達になろうという動機もないと思う。しかし、大学のクラブや外部でのクラブ活動を行えば交友関係も一気に広がるし、同じアクティビティを通してとても仲良くなれるのでお勧めする。特にスタテンアイランド校は敷地が広く周辺に何も無いので、外へ積極的にでて何かしたほうがおもしろいかもしれない。私は柔道をする事で多くの友人を作ることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。

とにかくこれでもかというくらい個人主義がアメリカ人には染みついているようなので、言いたいことははっきり言う、キレるときはキレる。それでもだめならルールを作った時の用紙(ルームメイトのサインがある)等、きちんと明文化された媒体を部屋に貼るなどをしたほうが良い。(ドイツ人はこれでアメリカ人ルームメイトとの問題が緩和されたらしい)そうでなければアメリカ人は(私が出会ったこの寮の住人)他人のことは基本的には気にしないので自分 1 人で苦しむことになる。私は超がつく日本人で、もっと強く言えば、もっと自分の英語力があれば、と思うこともあるが実際、自分が「あれをしないで」「これをしないで」「あーしてくれ」「こーしてくれ」という立場になると、関係も悪くなる(そもそも純粋無垢になんでそうしなきゃ?というスタンスだから)し、しんどいものである。私は前回の留学でルームメイトと非常にうまくいっていたこともあり、その思い出とのギャップが大きくショックが人一倍大きかったかもしれない。とにかく、言うときは言える人になったほうがいい。誇張なしで事実に基づいていると思うのでここへの留学先が復活したら、きっと参考になるとおもいます。うまく折り合いをつけることができれば楽しいと思うので頑張ってください。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)

- なし  
 あり (治療を受けた場所: \_\_\_\_\_ )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
 (例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

- なし  
 あり (問題の内容や相談した人等: インターナショナルオフィス・RA(room assistant))

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館・なし

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ソフトバンクのアメリカ放題。マンハッタンの地下鉄ではつながらないこともあったが概ね良好

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にはカード払い。あとはクレカのキャッシングサービス・日本で換金した米ドルをつかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

化粧水 だがマンハッタンまで行けばなんでもそろう。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

払っていない

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: _____ )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( _____ ) ・履修の制限はありましたか? <b>あり</b>	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Business	インターナショナルビジネス
科目設置学部・研究科	ビジネス
履修期間	2019/08/28-2019/12/16
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	Alan Zimmerman
授業内容	グローバル的視野に立ってビジネスを考察する。
試験・課題など	中間テスト・期末テスト・課題あり。難易度は高くない
感想を自由記入	日本大好きな先生の為例がほしい日本。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to College Writing		カレッジライティング	
科目設置学部・研究科	ビジネス		
履修期間	2019/08/28~2019/12/16		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回		
担当教授	Judith Hawkins		
授業内容	エッセイの書き方の講義		
試験・課題など	試験なし。課題がエッセイ。		
感想を自由記入	先生が優しい。授業自体はその日教えることがあったらおしまい		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to International Studies		インターナショナルスタディーズ	
科目設置学部・研究科	文化人類学		
履修期間	2019/08/27-2019/12/27		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Stephan Ferst		
授業内容	解決が難しいメジャーな国際問題を生徒と議論する		
試験・課題など	エッセイが三回あった。最終授業はディベートのためいやでも喋る		
感想を自由記入	生徒は結構自分の意見をいう。言わなくても大丈夫。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sport Management		スポーツマネジメント	
科目設置学部・研究科	ビジネス		
履修期間	2019/09/05-2019/12/02		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 240分が1回		
担当教授	David Pizzuto		
授業内容	スポーツビジネスの講義		
試験・課題など	中間テスト・期末テスト・教科書指定範囲を読む		
感想を自由記入	先生もナイスガイで良い授業。ただ商学部のスポーツマネジメントの先生は全然交換を認めてくれない。フランスで同じような授業をとったがだめだった。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

あらゆる就職関連サイト(みんな就・ユニスタイル)

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

日本製鉄: 留学を通して日本を客観視することができ、日本という国が好きになった。日本の競争力のある製品を海外に販売したいと思ったから。その中でも鉄はあらゆる産業の基盤である。なおかつ受注生産であり関係者、協力会社が多いことから、原料調達から販売までの SCM を密に行う必要がある。多くの人の力を結集して大きなことを成し遂げ社会に利益をもたらす鉄鋼業界は、チームプレーを発揮して仕事をすることを軸として就職活動をしていた私にとって魅力的だった。

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

とにかく早くから準備をすること。ES や面接対策はやればやりこむほどいいものになるし、自信につながる。他にも SPI を含むウェブテストや自己分析、他己分析、企業分析等やることは多いので早め早めの準備が大事。私は SPI に手間取り十分な企業分析ができなかった。今思えば受けておけばよかった業界、企業等がたくさんある。インターン等を通して周りから刺激をもらい無理矢理にでもやる気スイッチをいれちゃうといいかも。明大生が第一志望するような企業群は周りの学生も超優秀。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2018年 1月～3月	学部間協定留学中
4月～7月	7月中旬に帰国
8月～9月	お金が全然なかった為バイト漬け
10月～12月	11月下旬の交換留学に向け準備。 10～11月は就活そっちのけで TOEFL・英検の勉強に躍起になる。 12月、就活も始める。(インターン申し込み3社)
2019年 1月～3月	就活(SPIしかしてなかった。ふつうはそんなもの終わらせて大量にES書く時期)
4月～7月	5月下旬に内々定もらう。留学に必要な書類、振込手続き、留学先との連絡等と就活の板挟みで死にそうになる。(落ちまくる・落ちるんじゃないかの精神的不安) 航空券の取得、ビザ申請、予防接種、滞在先の確保、JASSO 奨学金申請は4～5月の間に行った記憶。
8月～9月	いろいろぜんぶ終わって留学がんばるぞ～と意気込むも寮が地雷 最初はフリーミールがあったりと歓迎ムードで楽しい。
10月～12月	私の留学先は10月くらいに中間テストがあることが多かった。 生活に慣れてくる。12月中旬に期末テストで留学終了
2020年 1月～3月	帰国後、単位申請、書類提出
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由：マンハッタンに最も近い大学がこの留学先であったこと。Sports Business が受講できるから。

この大学は TOEFL のリクワイアメントが 61 ということもあり、授業の難易度はそれほど高くないと思う。(私自身と、友人の取っていた授業での話)基本的に授業は聴講型であり、授業に行き出席しておけば大丈夫。中間テスト、期末テストともにそれほど難易度は高くない。例えば私が取っていた international studies の期末テストはクラスウェブに掲載されている単語 (War, Interest, Democracy等)の定義を暗記するだけで良い。しかもテストはMCQ(マルチプルチョイスクエスチョン)の為暗記する必要すらない。定義の冒頭の数字と単語をリンクさせて覚えておけば間違えることはないのだ。したがってテストはものの 10 分程度で終わる。ほとんどの生徒が英語のネイティブであることを考慮するとあまりに簡単すぎるのでは？と思い拍子抜けした。私が受講していた残りの授業も中間テスト、期末テストともに直前1, 2時間勉強すれば問題なく点が取れてしまう。College Writingに至ってはテストが存在しなかった。また、この大学は 12 単位以上取得しなければならない。授業数にすれば3~4授業が最低となる。なお、単位数が多い授業は授業時間も長くなる傾向があり、私が受講していたSport Managementはぶっ続け4時間であった。(実際は先生が疲れて早く終わる)

もっとレベルの高い授業も存在するのかもしれないがそのような授業は、pre-requirement というあらかじめ取っておかなければいけない授業があるため、受講は難しいかもしれない。マンハッタンに近いという魅力はあるが、勉強に専念したい、レベルの高い学生と付き合いたい、英語力を大きく上達させたいという学生はTOEFLの基準が高いところ、娯楽が少なく誰かと話すしかない環境で勉強したほうがいいだろう。しかし、勉強も、勉強以外のこともしたい！という人にはお勧めする。例えば友人はマンハッタンでインターンを経験する等、何物にも代えがたい経験をすることができる。しかし寮は上述のとおり自身の体験からあまりお勧めできない。また本大学は郊外型キャンパスの為、移動に大きな負担がかかる。公共交通機関は当然時間通りに来ない。よってマンハッタン島とスタテンアイランド島をつなぐ Saint Geoge付近に住むとマンハッタンにも行きやすく楽えている為お勧めする。Saint Geogeには学校のバスも巡回している。

英語の試験、書類提出、面接練習、留学の為の様々な手続きは就活をする者にとって大きな障害となる。留学手続きは様々な契約書類やお金が絡んでくることが多いので神経をそがれる。現在の就活スタイルが続くようであれば秋出発の4年生はそれを考慮すべきだろう。